

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																		
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
17 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用				3.9			6	7							12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用											12.6									
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用							7.2									13				
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用											12.2	13	14	15						
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・リユースの一環で印刷済用紙の再利用を実施					6.3					11.6	12.5	13	14	15					
22 公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・就業規則に不正に対する懲罰内容を記載し、社員入社時に落とし込みを実施している。																		16	16.5
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・就業規則に不正に対する懲罰内容を記載し、社員入社時に落とし込みを実施している。																		16	
	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・外部に接続可能なパソコンにウイルスソフトやファイアウォールなどの設定を実施し情報漏洩対策を実施している。												8.2	8.3	9					
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・就業規則に個人情報に関する内容を盛り込み、社員入社時に落とし込みを実施している。																			16
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																				16
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用					5			8		10		12	13	14	15	16	17			
28 製品・ サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・業務フロー、業務マニュアルを整備し、顧客へサービスを提供している。			3.9												12.4				
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・業務フロー、業務マニュアルを整備し、顧客へサービスを提供している。													9						
30 製品・ サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用						6										12	13	14	15	
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
32 社会	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・関連企業と連携し、地域の交通安全活動を実施					4							9		11	12		14	15	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
1																							
2																							
3																							
4																							

【記載留意事項】

- SDG sのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（SDG sのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDG sのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。

なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

- 「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度 など）